

## 牧之原市教育委員会 会議録

令和4年3月25日、牧之原市教育委員会が牧之原市役所相良庁舎会議室に招集された。

この委員会に付議するため、教育長の告示した議案は次のとおりである。

### 付議議案

- 議案第25号 「未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画～学校再編計画～」について  
報告第29号 牧之原市教育委員会後援名義使用の許可について  
報告第30号 令和3年度牧之原市教育委員会表彰者の決定について  
議案第26号 令和4年度牧之原市教育委員会人事異動について  
議案第27号 牧之原市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則  
議案第28号 牧之原市教育委員会事務局職員職名規則の一部を改正する規則  
議案第29号 牧之原市立学校教育職員の業務量の管理等に関する規則  
議案第30号 牧之原市小中学校処務規程の一部を改正する規程

### 出席委員

1番 橋本 勝	事務局	教育文化部長	内山卓也
2番 澤田 衛		学校教育課長	杉田雅良
3番 吉住幸子		社会教育課長	八木康仁
4番 寺井ゆみ		スポーツ推進課長	大石昌秀
5番 池ヶ谷祐太		教育総務課長	水野敬子
		教育総務課主幹	榛葉円香

開会時刻 午前9時30分 牧之原市役所相良庁舎3階庁議室

開会（教育総務課長）

教育長挨拶

会議録署名人の決定（事務局より指名）

橋本教育長と澤田委員を指名

教育長報告

令和4年2月28日から令和4年3月24日までの主な行事について報告があった。

議事（進行：教育長）

議案第 25 号 「未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画～学校再編計画～」について

（教育文化部長・教育総務課長より説明）

質疑応答後、採決（賛成：挙手全員）により承認された。

澤田委員 資料を読ませていただき、厳しい意見もあったが多くの意見をもらうことができたと感じた。内容では、市民への周知不足や少人数教育について、牧小中に関する意見が多かった。長年多数の働きかけをしてきたことは、資料にも表れており、少人数教育についても個人的には意見はあるが、国の教育制度の根幹に係る回答もあり、パブコメに対する回答もよくできていると感じた。今後、計画を実現するためには、話し合いながら決めていくと思うので、この計画をまずは賛成させていただき、今後も協議を続けていくことになると思う。今後、国の 1 クラス 35 人学級が変更される、牧之原市の人口が増えることもあるかもしれない。意見としては、このプロセスとしての計画に、賛成させていただく。

池ヶ谷委員 パブコメには反対意見もあるなど感じた。計画ができるまで、あり方検討からプロセスがわかるような計画になって良かったと感じる。この計画が正しい、上手くいくかどうかはこれからだと思うが、これまでのプロセスを踏んできたことは良かったと感じ、このまま進めていけばよいと思う。ただ、様々な意見があるということを忘れてはいけないとも感じる。澤田委員も言うように、今後も対話、必ず意見を取り入れてやっていくこと、計画を知らなかった人に届くように進めていく必要があるとも感じた。

教育文化部長 周知については、意見をいただいております、議会においても、来年度当初の採決に際し、反対討論があった。来年度の初めに、概要版のパンフレットを手元に残るよう全戸配布予定。議会では、市民参加条例でやっているとはいえ、全ての人が理解をしているのかと言われたが、条例でいう計画策定に市民の意見を取り入れるということについては、十分行ってきたと思う。また、市としてはこの計画がベストで、最善であると策定してきて、政策の意志決定として今後見直しではな

く、追加、進めていく中での修正はあるとは思いますが、目標として位置づけるものである。

議会からの要望書には、市民の意見を聞き、議会との対話をしてすすめるような内容をいただいている。

寺井委員 パブコメを見て、今後、地域に学校がなくなる事への不安が多く、地域との連携や地域と意見交換をしていくことが大切と感じた。

また、まちづくりと関わる事、例えば図書館を地域と一緒に作るなどは、スケジュール案のどこでそういう検討をしているのか？

教育文化部長 計画書の 31. 32 ページに、交流の拠点となる施設の多機能化など施設の共有等について、34 ページのスケジュール案の学校施設整備基本構想、基本計画では、施設の機能などを具体的に考えていく期間になるので、地域の活用も意見交換しながら決めていくと思う。

寺井委員 教職員の異動の話の中で、教員不足についての問題を知った。学校づくりには、人材が大切になる。中学生や高校生に牧之原市に帰ってきて先生になってもらえるような支援をしていくことも必要になるのではないかと感じた。

学校教育課長 看護師等へ、返還しなくてよい補助があるのは聞いている。現状新規採用職員も、地元の教員も減っていて、教育実習の人数も減っている。浪人して大学に行く若者が減っているのと同じように、教員採用試験を受けてだめなら、別の職業に就いてしまう状況もあり、講師不足の原因になっている。小学生、中学生に先生っていいなと思えるような魅力ある先生にならなければいけないし、働きやすい職業にしていかなければならないと思う。

教育長 県の施策として教員採用ガイダンス等を行っている。市内の学校で教育実習を行った地元の学生については、できるだけ確保していきたいと思っている。

吉住委員 現場の先生が一番大事だから資金の援助がいいが、資金に変わるような支援をしてあげて、学生の気持ちを引き寄せる必要もあると思う。

- 澤田委員 パブコメでもあったが、牧之原市は、吉田町と川根本町との地区の人事となると思うが、菊川市、御前崎市、吉田町、焼津市あたりで異動はできないのか。固定化した仕組みではなく、人事がまわしやすくはならないのか。
- 教育文化部長 教職員組織のあり方に書いてあるが、いわゆる榛原地区の枠組み、あり方がこれでよいのか、については議論をしていかないといけないと思う。
- 教育長 国の制度ではなく、地区の事情であり、教育行政区の枠組みが市町村合併により1市2町となったもの。政令市の静岡市や浜松市は、教員試験についても、全く別になる。川根本町の再編があやしくなってしまったが、3年後には本川根2校、牧之原市も2030年に2～3校になる予定で、学校数も激減するため、地区そのものをどうしていくかを議論することになっている。
- 教員の人事異動は、他地区との交流はごく少数やっている。榛原地区の将来については、他の組織(学生協、校長会、退職校長等)も関連しているため、なかなか難しい状況。
- 教育文化部長 学校再編で、学ばせたい、学びたいという学校を作るが、併せて、先生も働きたい、引っ越してきたい、という先生を増やしていければと考える。消防署は新設の施設で、相良で働きたいという消防士が多いという。新しい施設で子ども、先生も教育が充実し、保護者が住みたいとなっていければいいという希望はある。
- 学校教育課長 教職員は住まないと働けない訳ではないが、籍はあるので生活の事情により志太、榛原で地区を変更することもある。
- 教育長 今も教職員の居住地は様々だが、今後の学校数の減少の中、新しい学校の魅力をどう作っていくか協議が必要であり、また、教員になりたい、地元で子どもを育てたいという教員を増やしていけるような教育をしていくことが重要と考える。
- 教育文化部長 子どもや保護者も、こういう教育をしてくれる学校があるから、牧之原市に家を建てたいなと思えるような教育をしていく。結果としてそうなればいいなということで、人口増の為の学校再編ではなく、ここで教育を受けさせたい、受けたいと思えるようなあり方で目指した教育を目指していきたい。

- 吉住委員 パブコメの資料の17ページ、No. 50の意見はすごく良かったと思う。市が丁寧に進めている、参加者に合わせた資料づくりをしている、職員の目的意識がしっかりしているなど、こういう意見が出てくるのがすごいと思った。
- 議会にも浸透し、賛成していただいたことも、ありがたかった。政策を決定していくプロセスも事務局はよくやってくれたと思った。
- コミュニティ・スクールは今盛り上がっているので、今後新しい学校にそのままどうやって持っていくのが課題だと思った。
- パブコメで気づかされたのは、学組教育委員は牧小中を残してくれてありがたいという意見が多いのかと思ったが、牧小中の保護者の意見には、置いてかないでほしい、という意見もあり、部活が選べないなどの意見もあることに気づいた。いじめのサポートは入れてほしい。「インクルーシブ教育」「コミュニティ・スクール」の意味をカッコで入れた方がよいと思う。
- 教育コーディネーター こうなったらいいなという妄想だが、今は各学校で盛り上がるのが大切で、その中でコーディネーターさんを中心に、新しい学校に関わってくれる人を増やし、育てたい。今関わっていないと、新しい学校に口を出せないと思うので、今の活動をもとに話し合いをしてほしいと思っており、今ディレクター同士、運営協議会同士が共に話し合い、知り合い、未来へ繋げていきたい。
- 吉住委員 携わる人たちが、楽しんでいるから上手くいっていると思う。
- 教育長 牧小中については、再編計画の対象外としたが、今後牧小中をどうしていくかの協議は続けていく。
- 教育総務課 表記の件は、インクルーシブ教育については、近江委員からの指摘により本文で書いたため、注釈はなくした。
- 総括主任
- 吉住委員 概要版やパンフレットになるときには、一般の人が見た時、その言葉がわかるように、注釈等で説明をするほうがよい。
- 教育文化部長 学校組合教育委員会では、これでいいばかりでなく、考える時間をもらえてありがたいという方もいれば、いつまでに結論を出せばいいのかという意見もあった。これで終わりでは

なく、これからも協議をしていくものであり、議会からも継続的に協議してほしいと要望もいただいている。高台開発や人口の推移は見えなため、今後、どの時点でどういう判断をしていくか。新しい学校に入りたいとなっても、2年間で基本構想を作っていくので、想いが入らないことも伝えた。

池ヶ谷委員 ワークショップや意見交換の時、誰がいるか、どんなテーマを設定するかが重要であると考えている。どんなテーマで、どんな聞き方をするのか、悩んだ方がよいと思った。SDGsのロゴを追加した経過が良くわからない。流行りやファッションのように使ってよいのか、この計画を作るときに意識してきたかと悩んでしまったが、どうか。SDGsは2030年までの取組みでは。パブコメの回答はしたのか？

教育文化部長 パブコメの回答は計画の公表と同時に行う予定。SDGs、企業も当たり前に行う取組みであるため、市の計画もすべてそれに沿っている。それについて議論していないが、意識して当然、そういう認識だとして載せているもの。

教育総務課 目標として人類が意識していくべきこと、意識改革である。学校再編計画の中身が決まってから、それに繋がっていくとして後で入れた。ワークショップの目的やテーマについて話し合ってきたが、今後の基本構想では具体的なことについて意見を聞くようになるので、対象を絞ったり、ポイントを絞って協議してもらえるようにしていく。

総括主任

澤田委員 その時代で、言葉には浮き沈みがある。「コミュニティ・バス」、は、今は変わっているし、「コミュニティ・スクール」も前からやっている取組みだったりする。SDGsもそうだが、しっかり、日本語で伝えていくことも大切。

教育長 伝え方によっては、取り方も変わってしまう。教育委員会として、こういう学校を作っていくたいと周知をして、今後も様々な意見を聞きながら進めていきたい。では、挙手により、採決をしたいと思う。議案第25号について、賛成の方は挙手をお願いします。（全員挙手）

挙手全員なので、当該計画の策定については決定する。

報告第 29 号 牧之原市教育委員会後援名義使用の許可について  
(事務局より説明)

5 件の申請があり、質疑・意見なく承認された。

報告第 30 号 令和 3 年度牧之原市教育委員会表彰者の決定について  
(事務局より説明)

教育委員会表彰 1 個人について、質疑・意見なく承認された。

議案第 26 号 令和 4 年度牧之原市教育委員会人事異動について  
(教育総務課課長より説明)

質疑・意見なく、承認された。

議案第 27 号 牧之原市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則  
(教育総務課課長より説明)

質疑・意見なく、承認された。

議案第 28 号 牧之原市教育委員会事務局職員職名規則の一部を改正する規則  
(教育総務課課長より説明)

質疑応答後、承認された。

池ヶ谷委員 キャリア教育は、どこに入るのか。

学校教育課長 小中一貫教育の推進の中で進めていく。

議案第 29 号 牧之原市立学校教育職員の業務量の管理等に関する規則  
(学校教育課長より説明)

質疑・意見なく、承認された。

議案第 30 号 牧之原市小中学校処務規程の一部を改正する規程  
(学校教育課長より説明)

質疑・意見なく、承認された。

閉会 (閉会時刻 午前 11 時 45 分)